

県初の女性プロ棋士「女流棋士」

やまぐち に こり
山口 仁子梨さん

(17歳 鷲谷高校2年生)

この地から!
この力!



直撃インタビュー

令和元年10月1日に県内初の女流棋士としてプロ入りし、24日に初勝利デビューを飾った山口仁子梨さん。

妹弟と切磋琢磨しながら、一局一局、精一杯取り組むことを大切にしています。

座右の銘:精励(力を尽くして励むこと)



王将 将棋を始めたきっかけは?

弟が将棋を習い始め、練習相手をしたのがきっかけです。その弟が大会に出る時に私も挑戦することになり、その大会で優勝し、全国大会へ。でも、その予選では負け、もっと強くなりたいと思い、本格的に始めることにしました。

王将 将棋の「おもしろさ」は?

やればやるほど、奥深さを感じます。戦法も様々で、勉強しても次々とわからないことが出てくる。でも、練習をすればそれだけの手ごたえを感じることができ、努力すれば勝てるようになる。それが楽しいです。



王将 将棋の「むずかしさ」とそれを乗り越えるために大切にしていることは?

一対一の自分一人で戦う競技なので、負けた時の悔しさはひとしお。負けた後は、一回失敗したことを振り返り、棋譜(きふ)をとって同じ間違いをしないよう、負けから得ることができるように振り返っています。



王将 妹、弟はどんな存在ですか?

同じ年のライバルもいるけれど、一番近くて強いライバルたちで、いつも切磋琢磨してきました。今でも3人で対局すると、その後に感想戦(試合を振り返った会話)をして、互いに上達し合っています。

王将 プロ棋士となった仁子梨さんを見て、どう思いましたか?

妹: 稀良莉さん (写真右) 私も将棋をやるようになって女流棋士を目指しているので、先にプロに上がられたことが悔しいです。私も頑張って、今度は先にタイトルを獲得したいです。
弟: 修生さん (写真左) プロに登り詰めて、正直いいと思う。後から始めたのに先にプロになってしまったので、悔しい。ぼくもライバル心をもって、プロ棋士を目指したいです。

王将 これからの目標と岐阜市の小中学生へメッセージを!

少しでも強くなること。女流棋士として1つでも多くタイトルを獲り、里見香奈女流棋士のようにになりたいです。

自分のやりたいことに向かって努力してほしいです。どんなことでもよいので、好きなことを見つけて、一生懸命やってほしいです。



第55回全国高等学校将棋選手権大会団体戦の部優勝 鷲谷高等学校

常に向上心をもって、努力を重ね実力をつけてきた仁子梨さん。妹、弟からも刺激を受けながら、兄弟3人で切磋琢磨する毎日。通っていた将棋教室で、小学生に笑顔でアドバイスする姿も、素敵でした。家族のサポートを受けながら、女流棋士としてさらに飛躍されることを願っています。

令和元年度 家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう!(我が家のルール)」

令和元年度「決めて、守ろう!(我が家のルール)」啓発優秀作品

賞	学校	学年	氏名	我が家のルール(作文の題)
優秀賞	明郷小	6年	杉村 蓮里	忙しくても家族はつながっている
優秀賞	藍川小	5年	吉村 心結	わが家の四分間そうじ
優良賞	岩野田中	1年	清水 洸貴	自分の仕事は責任をもってやる
優良賞	島中	1年	横地ひとみ	「1日30分」で増えた、家族との時間
優良賞	岩小	6年	丹羽 亮雅	朝からパワー全開!!
優良賞	加納小	6年	中今 綺乃	今日の幸せ見つけ
優良賞	柳津小	5年	松下和果奈	出した物はもとの場所にもどす。
優良賞	七郷小	5年	石井 陽菜	家事の分担
佳作	長森中	1年	乾 りさ	何でも話して悩み解決。
佳作	島中	1年	出来 娃妃	幸せな時間
佳作	芥見小	6年	日浅 香歩	ねる前のお話タイム
佳作	三輪南小	6年	後藤菜々穂	我が家は図書館
佳作	西郷小	5年	水谷 心音	仲良しの印「ハグ」
佳作	岩野田北小	5年	江川明依音	みんなが続けられるルール

優秀賞
我が家のルール
「忙しくても家族はつながっている」
杉村 蓮里 (令和元年度 明郷小学校 6年)

私の両親は共働きで、特にお父さんはなかなか一緒にいられません。そこで私の家は、日記用の手帳でメッセージ交換をしています。メッセージを読んで、お母さんが帰宅するまでの間に、勉強や夕食準備、洗濯たみ等のお手伝いをします。お父さんは、イラスト入りで書いてくれます。学校に行く前に読むことができます。安心したり、安全に気を付けたりできます。私も家族に思いを伝えることができて返事に何が書いてあるか楽しみです。今年で三冊目です。以前のものを読み返して、その時の気持ちや思い出を思い出せます。お手紙手帳は家族がながくつづいてほしい証の1つです。

優秀賞
我が家のルール
「わが家の四分間そうじ」
吉村 心結 (令和元年度 藍川小学校 5年)

わが家には、毎日朝四分間そうじをするというルールがあります。四分間そうじがなかったときには、お母さんや、お母さんが、毎日、ゆかさしや、茶わん洗いが大変そうだったから、みんな協力することが大事だと考えた。最初、私のお姉ちゃんも四分間そうじを提案しました。家のそうじを考えて、当番を決めました。そして毎日四分間そうじをしています。よかったです。お母さんやお父さんが少しずつ家の仕事が楽になりました。だからこれからも四分間そうじを続けていきたいです。

令和元年度分より優秀賞のみ作文を掲載いたします。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。「家族でふれあう時間を大切にしましょう!」

2019 11/3 第6回 中青フェスティバル!



中青の利用団体が、日頃の活動や練習の成果を発表しました。晴天にも恵まれ、発表者の笑顔があふれる温かな一日になりました。

今年度は、「ぎふ未来☆プロジェクト」の会場として、中学生や大学生が自己の学びを深めたり、スタディルームで自習する中学生がこれまで以上に来館したりと、多くの青少年の皆さんのご利用があった1年間でした。来年度もより多くの青少年が利用できるような取組を行う他、eggでもより多くの中高生の活躍を取材、編集してお伝えしていきたいと思ひます。

第56号 令和2年2月21日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会 中央青少年会館
〒500-8813 岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢! 活かそうカ!

小中学生のための地域情報発信誌



ぎふ☆プロ 成果発表会

特集
ぎふ未来☆プロジェクト
~新たな学びに挑戦!~

いきいきインリーダー

地域で活躍する
小中高生の紹介!



この地からこの力

県初の女性プロ棋士「女流棋士」
やまぐち に こり
山口 仁子梨さん
(島中出身・鷲谷高校)

eggのホームページにアクセスしよう!
デジタル egg 検索

岐阜市ホームページ <http://www.city.gifu.lg.jp/>

vol.56
2020.冬号
岐阜市
情報発信誌

発行 岐阜市教育委員会 中央青少年会館